

世界に誇れる極上の会津米づくり

「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米 100%」

両沿地方米づくり情報 緊急号 平成27年8月4日

発行：JA会津みどり営農部・各総合支店、会津坂下農業普及所・金山普及所

<水管理と追肥の徹底により高温障害を防ぎ、特Aを維持しよう！>

1. 今後の気象予報（仙台管区気象台 7月30日発表）

今後1ヶ月の気温は平年よりも高くなる見込みです。特に8月前半はかなり高くなる見込みと予報されており、高温障害に注意が必要です。

2. 水稻の生育状況と刈取り適期の予想

幼穂形成期以降、日平均気温が平年よりも高いため、出穂は平年より5日程度早く、登熟もさらに早まることが予想されます。刈取りが適期から遅れると、胴割れ米が発生し、品質が低下します。適期に刈取りができるように、コンバインや乾燥機等を早めに準備してください。

カントリーエレベーターは9月上旬より荷受けできるよう準備いたします。

表 主な品種の出穂期と予想刈取り適期

| | 品種 | 出穂期（平年比） | 予想刈取り適期※ ₂ | |
|-----|-------|---------------------------|-----------------------|-------------|
| | | | 高温年(24年) | 平年 |
| 平坦部 | ひとめぼれ | 7/29 (6日早い) | 8/31 ~ 9/6 | 9/2 ~ 9/9 |
| | コシヒカリ | ※ ₁ 8/6 (5日早い) | 9/9 ~ 9/15 | 9/14 ~ 9/21 |
| 中山間 | ひとめぼれ | ※ ₁ 8/4 (2日早い) | 9/14 ~ 9/18 | 9/20 ~ 9/25 |

※₁は予想

※₂ 予想刈取り適期は出穂期からの日平均積算気温が950~1050℃

3. 登熟期間の高温障害対策（水管理）

玄米の登熟期間に高温になると、白未熟粒の発生が多くなります。特に出穂後20日間、日平均気温が27℃を超えると白未熟粒の発生が増加することが報告されています。

高温時には、水田に湛水して、地温の上昇を抑え、高温障害を防ぎましょう。また用水不足のため、かけ流しは行わないでください。

4. 登熟期間の高温障害対策（追肥）

H24産米は、登熟期の高温により水稻が栄養凋落して品質が低下し、特A陥落となりました。この反省を踏まえ本年はコシヒカリで葉色が薄い場合（葉色が3以下）、下記のとおり実肥を実施し、良質米生産に努めましょう。（N成分:1kg/10a）

※推奨肥料

| 栽培区分 | 肥料名 | 10aあたり散布量 | 30aあたり散布量 |
|--------|--------|-----------|-----------|
| 慣行栽培 | NKC-6 | 7kg | 20kg |
| 特栽・エコ米 | いもどり有機 | 10kg | 30kg |

詳しくは各JA営農課までお問い合わせください。